

あたらしい複合施設について
みんなで考える

WORKSHOP

第3回 ワークショップ 開催結果

開催概要

9月23日（土）16名の方々に参加いただき、
「あたらしい複合施設について考える、第3回市民ワークショップを実施しました。」

【はじめに】

- 前回のワークショップでは班ごとに施設利用者像（ペルソナ）を想定し、複合施設の利用をイメージした1日の過ごし方（ストーリー）を作成しました。

- 1班：高校生の**葵さん**
- 2班：恋人がいる20代後半男性の**ふじたさん**
- 3班：小さなお子様をもつ35歳の**白河花子さん**
- 4班：子どもたちと離れて暮らす78歳の**複太郎さん**

- この施設を訪れる目的やきっかけは様々であり、その様々な来館者に充実した一日を過ごしてもらうために、施設の使い方を案内する役割や、人と人、人と情報をつなぐ役割を担う、コンシェルジュやコミュニティマネージャー的なサービスがあるとよいことなど、1日の過ごし方作成を通して提案されたサービス等について振り返りを行いました。

【ワーク】

- 各班が第2回で作成したストーリーを実現するために、どのような管理・運営方法がよいのか、どんなサービスがあったらよいのか、「管理運営に関わること」「設計に関わること」の2つの側面から考えました。



【WSの様子】



【発表の様子】



【市岡氏感想】



	■ 運営に関わること	■ 設計に関わること
施設全般	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生専用で使えるスペースが欲しい ● 観葉植物の配置 (癒しの効果) ● プリクラの機械の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ● フリーWi-Fiの設置 (時間無制限で使える) ● コンセントの設置 ● 廊下の有効活用→溜まり場空間の確保 →テーブルや椅子を配置して、勉強したり話したりできる ● 各フロアへの自販機の設置 (飲み物等)
広場	<ul style="list-style-type: none"> ● マニアの人に刺さるようなベント (パトカーの展示等) ● キッチンカーの配置 (日替わり・週替わりで) 	
1Fカフェ	<ul style="list-style-type: none"> ● なるべく安く利用したい ● 10時オープン (勉強前にも利用) 	<ul style="list-style-type: none"> ● コンセントの設置
1F エントランスホール	<ul style="list-style-type: none"> ● 飲食可 ● 友人とおしゃべりしながら勉強できる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 机と椅子の配置 (テーブルは丸テーブルを希望) ● 落書きができる白い壁 (ポジティブな言葉や施設の感想等を書く、お絵描きボードなど)

2F



研修室
 ・団体利用等なく空いているときは学習スペースとして開放
 ・オンライン授業の受講が可能な場

発達支援室
 ・対象となる子供のサイズに合わせた椅子や机の設置

3F



工作室
 ・利用状況がWEBやアプリで確認でき、予約もできる。

多目的ルーム
 ・様々な試験会場等としての活用

	■ 運営に関わること	■ 設計に関わること
2F 学習ルーム	<ul style="list-style-type: none"> ● 静かな空間で集中して勉強できる ● 飲み物は可、食べ物は不可 ● 利用状況（空き状況、混雑状況）がWEBやアプリで確認でき、予約もできる。 ● 席を決められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 勉強スペースが狭いので、もう少し広く ● 電気スタンド、間仕切りの設置、電源の設置 ● 空ブースのサイネージ表示や案内
3F 音楽ルーム	<ul style="list-style-type: none"> ● Tik Tokの撮影等の利用（学生優先利用時間） ● 利用状況がWEBやアプリで確認でき、予約もできる。 ● カラオケ利用ができる。 ● 利用状況（空き状況、混雑状況）がWEBやアプリで確認でき、予約もできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 防音ルーム ● 撮影機材や編集機材の設置 ● 照明や鏡（ドレッサー） ● 個室もほしい（開放的なところは少しはずかしい）



市民が 施設運営に参加できることは どんなことがありますか？

- あまり他で見かけないようなイベント等があれば、おもしろいと思って運営に参加するかも。
(高校生は勉強しに来ることが多い。)



どのような仕組みがあれば 運営に参加したいですか？

- 学生も参加しやすい企画がある。





午前

【土曜日】

クッキング教室（フランス料理）に参加

● イベント・講座

定期開催のため、開催時期・内容が把握しやすい
サークルに加入していない人でも気軽に参加できる

仕事・住むところの情報を得る
（女性サポート支援：どんな仕事がある？）

● 女性サポートセンターが開いている

（市内にある仕事の情報・結婚後の支援制度を教えてくれる）

● チャレンジカフェが営業中

（移住者も新しくカフェをはじめられる）

おしゃれカフェでテイクアウト→散歩/(施設内外を)
インスタに投稿

● いい感じのモニュメント・オブジェが配置

オシャレで落ち着ける空間が点在

音楽を練習している方たちが
目に入る

● 防音室以外でも

音楽演奏が出来る空間が存在

夜市イベントに遊びに行く
音楽ライブが開催されている

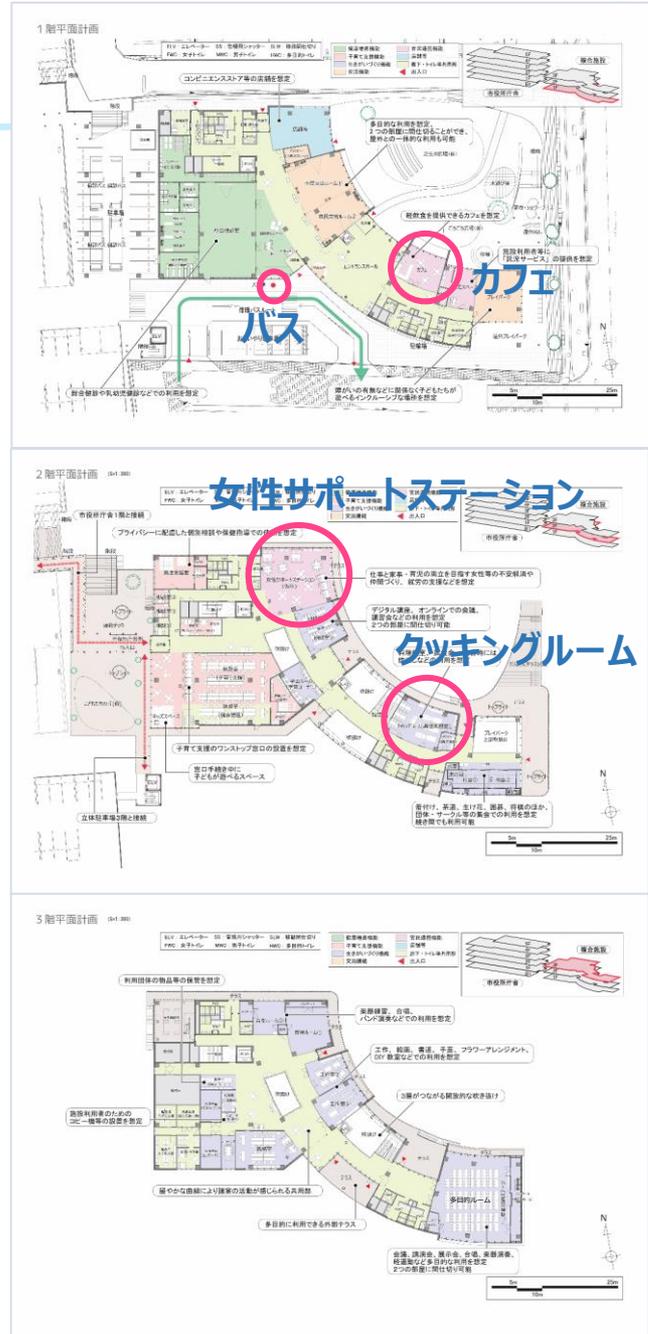
● 音楽イベントの告知ポスター

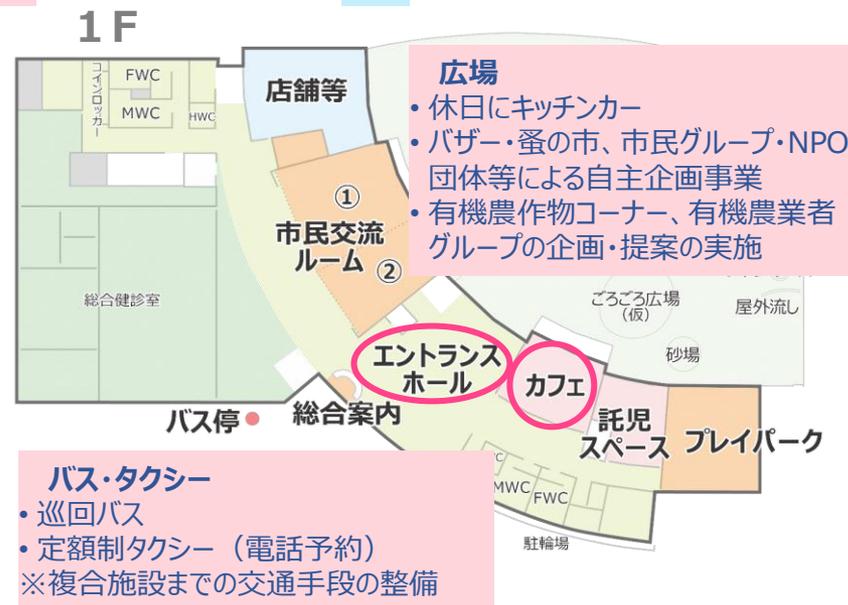
● 巡回バス（イベント用）

● 21:00まで開館



夜間





広場

- 休日にキッチンカー
- バザー・蚤の市、市民グループ・NPO 団体等による自主企画事業
- 有機農作物コーナー、有機農業者グループの企画・提案の実施

バス・タクシー

- 巡回バス
- 定額制タクシー（電話予約）

※複合施設までの交通手段の整備

	■ 運営に関わること	■ 設計に関わること
施設全般	<ul style="list-style-type: none"> 大きなイベント（通年参加） イベントやチャレンジカフェの情報がホームページやSNSで見られる 更新しやすい情報表示のシステム（誰でも使える） 市の広報紙にイベント情報・複合施設コーナー イベント参加予約がネットでできる 	<ul style="list-style-type: none"> 市民作品の設置場所 モニターやサインージ等、情報表示のツール（デジタル） 本日の予定や催し物について大きく表示されている 他の施設にもサインージを置いて情報共有
1F エントランスホール	<ul style="list-style-type: none"> 音楽ライブ 市民グループの自主企画事業 近隣への騒音対策・クラシック（音楽のジャンル） 	<ul style="list-style-type: none"> 反響や楽器の種類による音の大きさ等の計測
1F カフェ	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジカフェ 市民・個人グループの企画・提案・実施 曜日で出店者が変わる 利用料は白河市民はちょっと安く（市外の方は割高に） 	



市民が 施設運営に参加できることは どんなことがありますか？

- 関係するNPO、市民グループができるだけ参加する運営協議会
- 行事やイベントの市民参加
- 地域おこし協力隊メンバー等、共通の目的を持つ人たちが集まり活動できる場所
- 地域コミュニティの人々が集まり活動できる場所



どのような仕組みがあれば 運営に参加したいですか？

- 市民活動の運営支援
- 参加者にインセンティブの付与
例：施設内の食堂・カフェで使えるポイント付与
施設10回使用で1回無料（または1000円等）
- 経験を生かした市民アテンダント（先輩ママ・移住・仕事等）





施設利用者
白河 花子 さん

施設

使われ方・提供するサービス



【平日】

● イベント情報（毎日出す。LINEとインスタ）

● 直通バスがあると便利（直接来られる）

● 一時預かり

● 当日預けるサービス

ファミリーサポートに子どもを預けて一人でカフェでお茶
ホームスタートを利用して検診を一緒に行ってもら

● 工作教室でのイベントがある

● 市民活動を支援する・発信する

ハンドメイドWSに参加

● 紹介してくれる人がいる→コンシェルジュ

● コミュニティマネージャーがいる

● ワンストップ窓口

● ジャンルに捉われず相談したい内容を聞いてくれる

● 相談内容を整理し、明確にしてくれる

● 紐づく一次情報を教えてくれる

● 話した内容をまとめて引き継いでくれる

誰かと話したい
片づけをしたい



● カフェがある

● マルシェがある→ランチ（食品）も買うことができる

子どもとランチ



● 子どもが昼寝できる場所

● 子どもの遊び場がある

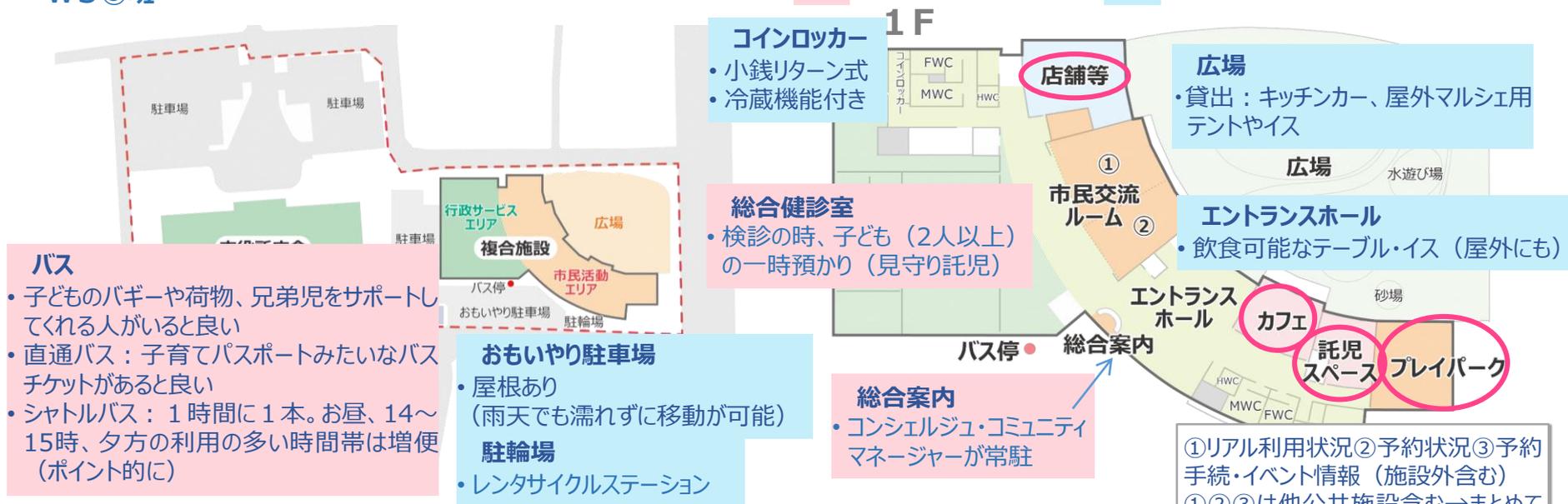
● トイレ、その他の部屋で着替えさせられる

● 親子ふれあい教室（市主催）

● ひろば的なもの（親子ひろば）

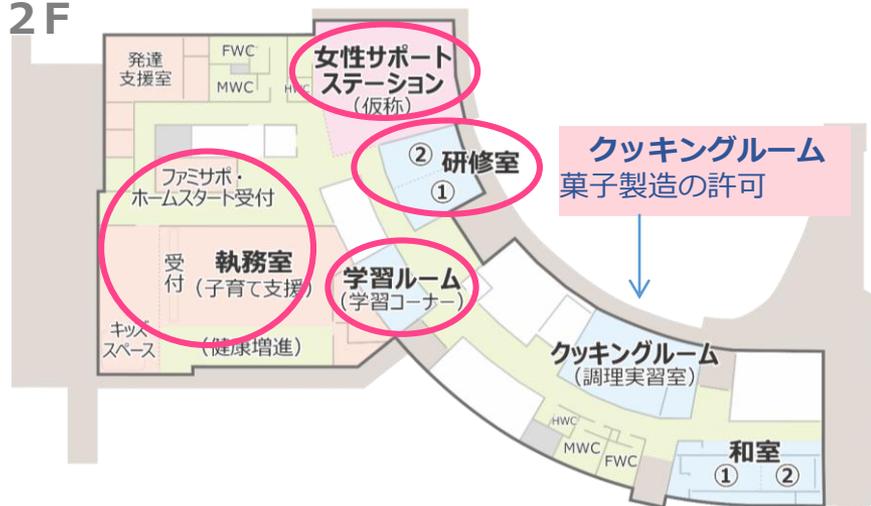
子どもの身支度・トイレ



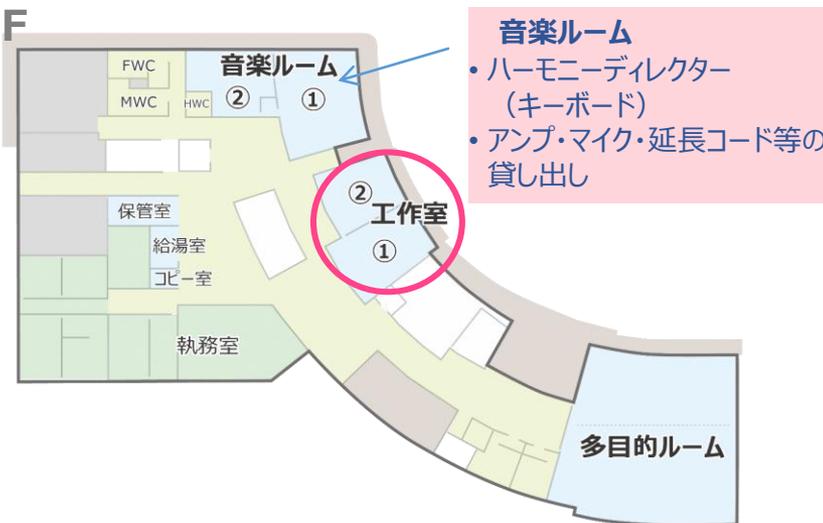


	運営に関わること	設計に関わること
施設全般	<ul style="list-style-type: none"> ● イベント・空き部屋の状況等の情報の発信 ● アプリで出入り（開館時間外）を管理・予約 ● マルシェ（ハンドメイド・フード）出店の申し込みができるシステム ● 白河市のジャンル別情報紙（定期的・月1程度） ● 館内なら自由に持ち出して読める本がある 	<ul style="list-style-type: none"> ● Wi-Fi・電源が使える ● イベントボード（当日のイベントが分かる） ● 24時間出入り可能なスペース（カフェやプレイパークからも出入り可）電子ロックで出入りを管理
1F カフェ		<ul style="list-style-type: none"> ● しっかり調理ができるカフェの設備（キッチンスペースを広く） →市役所職員もランチ利用ができるように
1F 託児スペース	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育スタッフ ● 調理スタッフ（ご飯を食べさせられることが可能だと良い） ● 子どものお譲り品（無料）が常備（急な着替えに困らない） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 昼寝ができる畳・こあがりのスペース（座布団・ブランケット） ● 着替えができるようなカーテン・パーテーションで仕切れる空間
1F プレイパーク	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用できる子どもの年齢・時間等の設定（夕方まで無料等） 	
1F 店舗	<ul style="list-style-type: none"> ● 時間 8～20時 各年齢対応食のテイクアウト、弁当・軽食 ● 子どもの各月齢の離乳食、お菓子、飲み物、おむつ（2個入）等すぐ使える商品・アレルギー対応の食品 	<ul style="list-style-type: none"> ● チャージスポット、充電器 ● 自販機（おむつ等も買えると良い）

2F



3F



	■ 運営に関わること	■ 設計に関わること
2F 女性サポート ステーション	<ul style="list-style-type: none"> ● コンシェルジュ・コミュニティマネージャー →ジャンルに捉われず相談したい内容を聞いてくれる →相談内容を整理してくれる ● 取次先の一次情報を教えてくれて、相談内容をまとめて引き継いでくれる (説明の繰り返し不要) 	
2F 子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ● マンツーマンでの対応が頼りになる ● 何かあったときに医療について訊ねられる人がいると良い ● 24時間子どもについての相談場所 (夜泣きでアパートに居られない、寝られない等⇒虐待防止) 	
2F 研修室		<ul style="list-style-type: none"> ● オンライン会議可能なパーティション・個室 (声出しOK)
2F 学習ルーム	<ul style="list-style-type: none"> ● 私語・飲食が可能な学習スペース ● パソコンの貸し出し 	
3F 工作室	<ul style="list-style-type: none"> ● 工作・絵画等の材料の貸し出しがあると良い 	



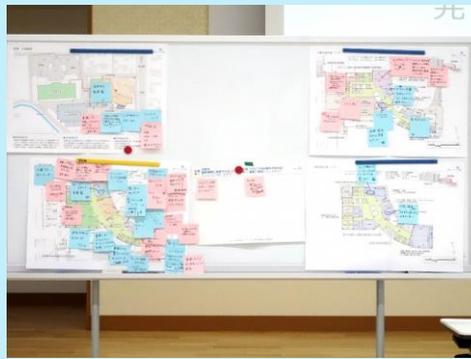
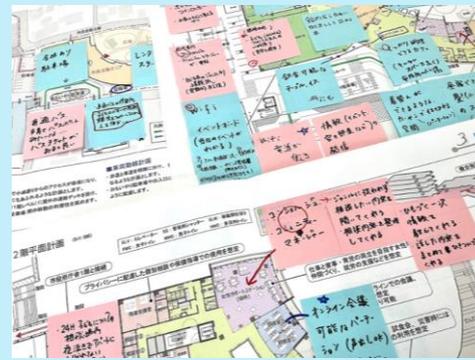
市民が 施設運営に参加できることは どんなことがありますか？

- シルバー人材センターの方に協力していただく
- リタイア後の看護、介護関係の方に協力してもらう



どのような仕組みがあれば 運営に参加したいですか？

- 月1回位で、誰でもどんな年代でも市民なら集まれる
交流会・情報交換



第3回WS ④班



施設利用者 複太郎さん

施設

使われ方・提供するサービス



午前

- 朝食が食べられる
- 無料バス

離れて暮らす子どもから、「外に出たら」と促される

何があるか見回っていると、スタッフに声を掛けられ、料理教室に参加 みんなでお昼ご飯



お昼

- 掲示板 (分かりやすいもの)
- コンシェルジュ
→ エントランスで声掛けしてくれる
→ 共通点のある人をつないでくれる
- 入りやすい雰囲気 (案内してくれる人)
- やっているクラスや教室の様子が見える
- 健康麻雀、将棋・囲碁
- スタンプカード・ポイントカードでお昼ごはんが無料

・料理教室で出会った人と午後の活動に参加
・知り合った人が入っているサークルに加入



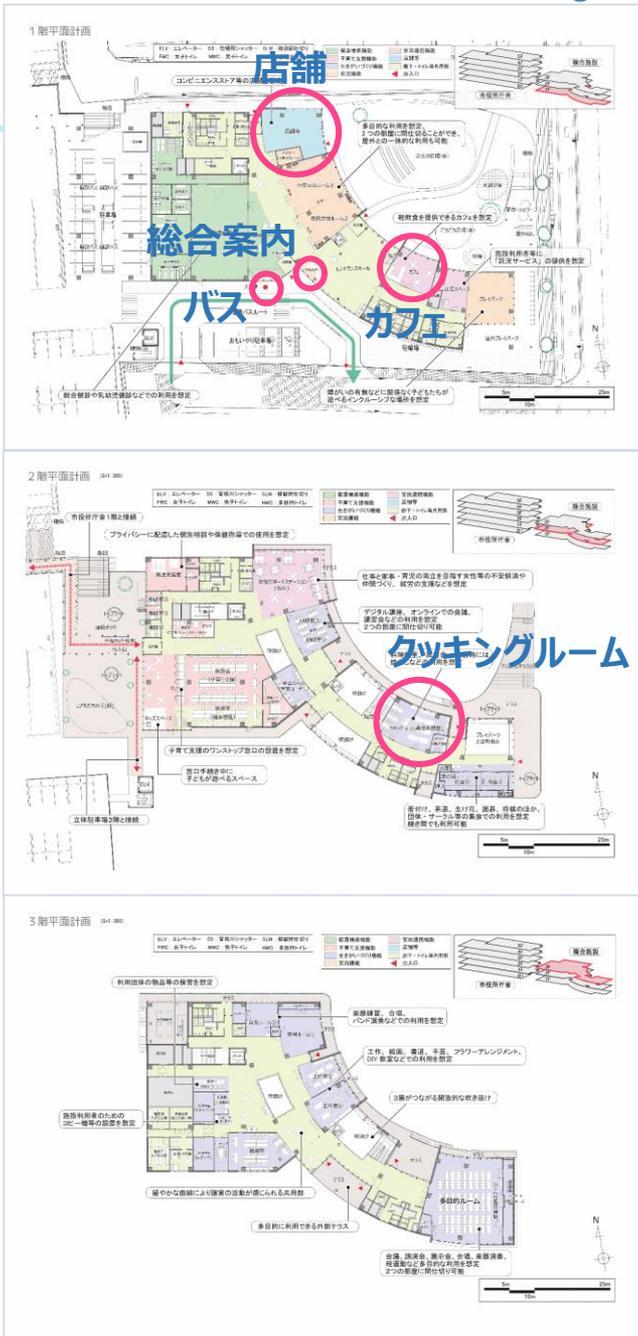
午後

- ぼーっとできる部屋
- 傘の貸し出し

周辺エリアを散歩

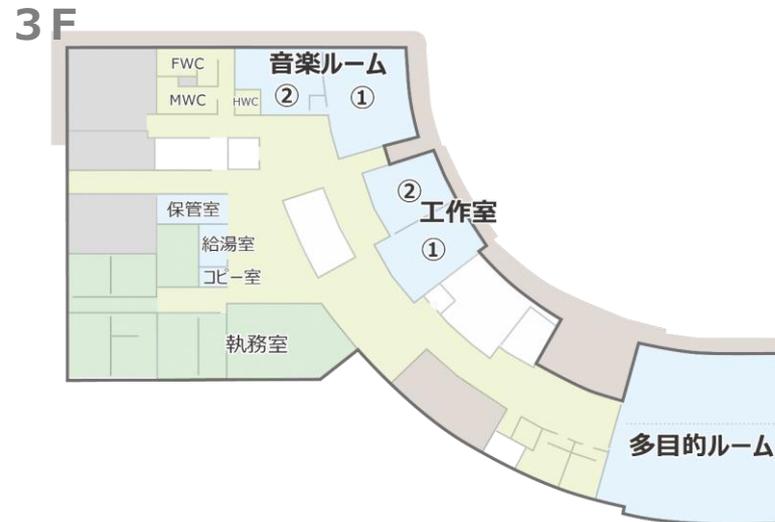
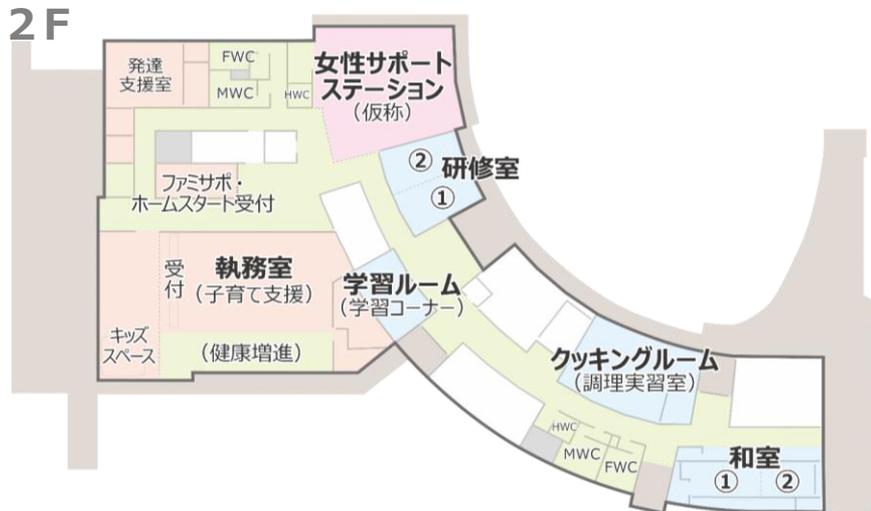
- 散歩コースの設定、または散歩クラスの開設

- 店舗やマルシェで一人用の総菜が買える





	■ 運営に関わること	■ 設計に関わること
施設全般	<ul style="list-style-type: none"> ● 来館しなくても予約できるアプリ ● 施設のアイコンになるキャラクター、愛称があったほうが良い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の各場所に内線で通話ができる
1F 総合案内	<ul style="list-style-type: none"> ● コンシェルジュが見回り→5、6人のコンシェルジュグループ ● コンシェルジュがタブレット端末を持っており、予約処理や他の窓口への案内等をしてくれる ● 人とのつながりを重要視する観点から、入口・出口で必ずコンシェルジュを通るフローとする ● コンシェルジュには行政知識のある人材（施設以外のことをある程度案内できる人）もいると良い ● よく来る人のカルテ管理（別の人が対応できるように記録を残す） 	
1F エントランスホール		<ul style="list-style-type: none"> ● 電子掲示板：どこで、何をしているか、活動が写真・動画で分かる ● 白河駅のラーメンマップのように、情報が検索ができる端末 ● 誰でも座れる椅子・机がある（ex.病院の待合室）
バス	<ul style="list-style-type: none"> ● 小型バスで一定の頻度で市内を巡回 ● 10～12人位乗れるバス（旧市内以外と施設をつなぐ） ● シニア世代の利用実態に合わせた対応 →ノンステップバス、タクシー ● バスには複合施設行きだと分かるようなイラスト等があると良い 	



	■ 運営に関わること	■ 設計に関わること
2F フロア全体	<ul style="list-style-type: none"> ● 総合受付から各機能の窓口へ情報伝達や問い合わせ等、連携できる仕組み ● 人の交流を促す仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2Fにも受付機能が必要 (人員配置or端末) ● 電子掲示板
2F・3F 共通	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者が責任を持って片付けをするルールを定める ● 部屋の貸し出しの際、利用団体に責任をもって管理してもらう ● 部屋ごとに利用マニュアルを定めて、利用者が備品や片付けを適切にできるようにする <p>※マナー等の啓発活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 各部屋に利用者の自主清掃用の掃除用具 (利用マニュアルを含む) がある



市民が
施設運営に参加できることは
どんなことがありますか？

- コンシェルジュまたはスタッフとして関わる



どのような仕組みがあれば
運営に参加したいですか？

- 運営組織がしっかり機能している（コンシェルジュスタッフの育成や、運営方針の決定など）
- 企画会議
- 企画力・施設運営・施設を起点にしたまちづくりをコーディネートできる組織



【全3回の総括】

ワークショップによって得られた主な配慮事項・アイデア

■利用者の繋がり、交流を促すサービスの提供

- イベントや講座などを紹介・提案するコンシェルジュスタッフの配置
- サークル・団体活動の支援・コーディネートを行うコミュニティマネージャーの配置

■中高生の「居場所」の創出

- 学習室以外の学習スペースの充実（1人で静粛orおしゃべり可、飲料のみor飲食可）
- 学校の部活の場以外に、目的を共にする仲間と活動する専用のスペースと、その活動への支援

■施設間の情報共有、案内のワンストップサービス化

- 案内スタッフが各機能の最新情報を把握し、各機能の業務内容を説明
- 利用者にわかりやすい案内サインの設置（本日の予定、催し物が一目で分かるもの）

■適切な施設利用

- 施設、備品利用マニュアル・ルールの策定
- 利用団体のマナー啓発 等

【全3回の総括】

ワークショップによって得られた主な配慮事項・アイデア

■利用手続き等のオンライン化

- インターネット上で、施設の予約、イベント参加の申込み、空き状況の確認等ができるシステムの導入

■様々な発表や発信のニーズに対応できる設備・備品の設置

- 作品の展示場所
- 撮影機材や編集機材
- 落書きができる白い壁 等

■学習スペースの充実

- 学習スペースの拡大
- 電気スタンド、間仕切り、電源コンセントの設置

■その他設備・備品等の設置

- 無料Wi-Fi
- 自動販売機 等

【全3回の総括】

ワークショップによって得られた主な配慮事項・アイデア

【市民が運営に参加する主な仕組みのアイデア】

■市民が施設運営に参加できること

- 講座やイベント等、市民グループなどによる企画・提案
- 子育てや仕事復帰、移住などに関する市民アテンダント（ノウハウ共有）
- コンシェルジュや運営スタッフ

■施設運営に参加したくなる仕組み

- 市民グループによる企画・提案が可能な場づくり、会議体の設置
- 活動を継続させるための支援を受けられる
（講座開催の料金設定や運営計画のアドバイスなど）
- 市民参加に対するインセンティブの付与
（清掃・美化活動などを実施すると施設内のカフェで使えるポイントが貰えるなど）